



### 問 村のまちづくりに地方創生活区

の活用を

答 当面は、ソフト事業で特色を出す

光風会 江田 五六 議員

議員 今、国が進めている地方創生事業・特区はソフト面よりハード面にうまく利用していった方が東海村民のためになると思う。そこで、駅西アクティビティパーク構想を提案する。

村長 この構想は、交流人口を活性化させるという意味でのまちづくりの一つ。それも地方創生の目玉にはなるが、ハード整備よりソフト事業でどれだけ特色を出せるかが重要。議員 今の渾沌とした世の中で何が重要かを考え、今後東海村にとって5年、10年、50年先どういった社会システム、経済システムを作っていくかを考えることが一番大切な事だと思う。国道6号線は一日に31,000台。常磐道は27,000台。スマートインターは3,000台。



6万台前後の車が高速道路と国道6号を通っている。村の避難計画の中で国道6号の4車線化・スマートインターの大型バスの乗り入れを実現した上で榊橋から笠松運動公園の間に(仮称)駅西アクティビティパーク構想を提案する。実現すれば、村の玄関として、(地域経済・子育て・福祉・環境・教育・避難バスのステーション等々)位置付けられる。



### 問 ポイント制導入で地域活性を

答 まず先に、健康ポイントの事業化を検討する

光風会 恵利 いつ 議員

議員 持続可能な地域活性を進めるために、ボランティア活動や健康志向活動(健康講座・イベントへの参加、検診等の自主的な健康管理)等をポイント化し、貯まったポイントに応じて地域通貨(村内のみで使用可)と交換できるシステム作りを提案する。ポイントを集めてお楽しみがあるというのは、時代の流れと考

える。

福祉部長 ボランティア活動に有償制を持たせることに疑問の声もあるが、取り組み方によっては新たな担い手の確保等、効果が期待できる。色々なご意見を伺いながら慎重に進めたい。健康ポイント制度の導入は、若いうちから健康づくり習慣が定着するなど、村民の健康寿命の延伸につながる事が期待できる。事業化

に向けて検討する。

議員 集めたポイントを地域通貨に交換できる仕組みを作ること、持続可能な地域活性につながると考えるが。

村長公室長 地域通貨は、住民の地域活動参加を促進する有効な手段の一つと考えるが、その仕組みづくりには相当期間の検討と準備が必要。



地域通貨:練馬の「ガウ」、秩父の「和同開珎」(光風会で平成25年度視察)